

再生可能エネルギーの大量導入に向けた 日本型先進グリッドを構築

【研究件名】 再生可能エネルギー調和型次世代電力システムを見据えた先進協調体系の創出
— 日本型先進グリッドを目指して —

【代表者】 早稲田大学・林 泰弘 教授

【共同研究者】 早稲田大学・若尾 真治 教授／東京大学・馬場 旬平 准教授／東京大学・太田 豊 特任助教
名古屋大学・飯岡 大輔 助教／福井大学・川崎 章司 助教／東京大学・横山 明彦 教授

(所属・職位は採択当時のもの)

背景

メガソーラーや住宅への太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入による不確定な出力変動と、ヒートポンプ給湯器や電気自動車の普及拡大による需要家側負荷の多様な変動に対して、柔軟に調和して安定供給が実現可能な次世代電力システム（日本型先進グリッド）を見据えたシステム体系の検討やデザインが急務である。

目的

電力ネットワーク、太陽光発電システムおよび需要家側負荷について調和した運用制御を行う三位一体の先進的な最適協調体系により日本型先進グリッドを推進する。

